

仏教讃歌を

聴いてみよう!



浄土真宗のご門徒・
お坊さんなら知って
おきたい! 3曲

真宗宗歌

詞：土呂 基
曲：島崎赤太郎



浄土真宗の宗歌として、1923
(大正12)年に真宗各派協和会
(現・真宗教団連合)から発表。法
座のはじまりなどに、よく歌われ
ます。

恩徳讃

親鸞聖人御和讃
曲：清水 脩



1952(昭和27)年発表。法要
や法座の終わりに必ずといって
もよいほど歌われる、浄土真宗
には欠かせない作品です。

スマートフォン、タブレットなどで
QRコードを読み込むと、仏教讃歌を
聴くことができます。

※機種によっては専用のQRコードリーダーが必要な場合があります

音楽礼拝

—正信念仏偈による



西洋音楽によるおつとめ。学校
や仏教婦人会でよく用いられま
す。
〈敬礼文〉〈三帰依〉〈正信念
仏偈〉〈念仏〉〈回向〉から構成され
ています。

上記楽曲の配信期間 2020年4月～2021年3月

浄土真宗本願寺派
総合研究所



Tel : 075-371-9244

月々の仏教讃歌は
裏面へ▶



4月

のんのさま

詞：東村 美穂
曲：中村 八大

1983(昭和58)年、民放ラジオ番組にて発表。「地球の子どもの子守唄」という副題の通り、和やかな曲調で人気の1曲。



月々の仏教讃歌

※毎月1日に配信します
都合により、配信スケジュールを変更する場合があります



7月

みめぐみの

詞：河合 恒人
曲：古関 裕而

1948(昭和23)年、真宗大谷派で結成された「大谷楽苑」から発表。阿弥陀さまの教えを胸に生きようと、優美に力強く歌われます。



5月

おかげさま

詞：中野八重子
曲：双葉あきら

1985(昭和60)年、仏教音楽研究所から発表。《ごおんうれしや》《もろてあわせて》とともに、「演歌三部作」として親しまれています。



8月

ごおんうれしや

詞：浅原 才市
曲：飯田 一実

1985(昭和60)年、仏教音楽研究所から発表。素朴な歌詞に民謡風の旋律。歌を締めくくるお念仏に、阿弥陀さまとともに人生を歩む喜びが込められています。



6月

みほとけに いだかれて

詞：日曜学校同人
曲：野村 成仁

大正時代に発表されて以来、葬儀や追悼法要などでよく歌われています。亡くなった方を偲ぶ縁(よすが)として歌い継ぎたい作品。



9月

生きる

詞：中川 静村
曲：森 正隆

1970(昭和55)年発表。やわらかい言葉で、阿弥陀さまのみ光のなかに生かされる喜びが歌われます。



楽譜のご案内

このちらし掲載の仏教讃歌はすべて、『聖歌・讃歌集』全6巻に掲載されています

仏教讃歌集の決定版！

本願寺派で明治時代から今日まで演奏されてきた277作品の伴奏付き楽譜と歌詞を収録
価格：各巻 本体 ¥3,000 + 消費税



ご購入は、本願寺出版社

0120-464-583まで ▶

(右のQRコードからアクセス)

